

■年末手当要求満額獲得に向けた座談会（横浜地方本部）

2020年11月5日（3日目）

組合員一人一人が「年末手当要求を知ること」「要求実現に向け、全組合員が取り組みや運動に参加すること」「組合員一人ひとりが職場で声を出す『発信者』になること」を目的に座談会を開催しました。



職場の現状や反応がどのようになっているか、東日本ユニオンが出した要求に対する意見を出し合いました。

また11月4日に開催された「年末手当・第1回団体交渉」の情報の読み合わせをおこないました。

参加者から

「働く側の論理からしっかりと要求を求めていくべき」「3.0か月の要求は必要なこと」「今回の手当で下がったら生活に直撃する」「こういう時に貯めてきた内部保留金を使うべき」と発言がありました。



座談会の最後に年末手当に対する生の声を発信するために、本部ホームページの「特設コーナー」に参加者もその場で投稿し、全組合員の投稿する取り組みをつくり出しました。

交渉団を支えるため自分ができることをやっていこうと確認してきました。